

(被災職員氏名) _____

第三者加害行為事案における 療養費の負担方法及び交渉状況について

標記療養費の負担方法については下記のとおりです。
また、相手方との交渉状況については別紙のとおりです。

記

(該当するものに○をつけてください。)

【免責】

1. 相手方が全額支払っている。
2. 病院に待ってもらっているが、相手方が全額支払う予定である。
3. 全額自己負担しているが、相手方へ請求する予定である。
4. 全額自己負担し、相手方に請求中である。
5. その他 (具体的に記入してください。)

【補償】

1. 基金の補償を受けるため、病院へ療養補償請求書を提出している。
2. 基金の補償を受けるため、全額自己負担している。
3. その他 (具体的に記入してください。)

(注) 公務災害に係る療養では、基本的に健康保険を適用できません (公務災害が優先適用となるため)。
健康保険で3割負担した場合は、いずれかの対応をとってください。

- ア) 医療機関から自己負担分 (3割) を返還してもらい、治療費の全額について医療機関から基金あてに請求。
- イ) 医療機関がア) の対応に応じない場合は、自己負担分を基金あてに請求。

※ 公務災害の補償以外に、人身傷害保険を受ける手続きを行っている (または行う予定である) 場合は以下にも○を付けてください。

1. 自己の人身傷害保険から全額支払われている。
2. 自己の人身傷害保険から一部支払われている。
3. 自己の人身傷害保険へ支払請求手続中もしくは手続きを行う予定である。

交渉状況報告書

〔交渉回数 第 回目〕

※相手方と交渉するごとに作成のうえ、任命権者を通じ地方公務員災害補償基金大阪府支部まで提出すること。

日時	年 月 日 時 ～ 時	場所	
----	----------------	----	--

交渉相手 〔相手方との関係〕	〔本人・任意保険会社・親権者・その他（ ）〕		
交渉相手の 連絡先	(〒 -)		
	電話	携帯電話	

交渉者 (被災職員との関係)	〔本人・上司・任意保険会社・その他（ ）〕		
-------------------	-----------------------	--	--

チェック項目	内 容
相手方は被災職員の治療費の負担方法についてどう言っているか	
相手方は治療費以外の被災職員の損害の負担方法についてどう言っているか	
相手方は自己が被った損害についてはどういう主張をしているか(額、負担方法等)	
相手方は自己の資力(賠償能力)についてどう言っているか	
相手方が主張する過失割合	過失割合 _____ (相手方) : _____ (被災職員) 〔根拠〕
その他の内容	

※ 示談締結前に必ず示談書(案)を基金に送付し、示談内容を協議してください。